

令和4年12月15日
北魚沼農業協同組合

お客さま本位の業務運営に関する取組方針

当組合は、「人、農、自然を愛し、農業の振興に努め、地域社会との共生を目指し、未来への挑戦により、心豊かな地域を創造します」を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、2017年3月に金融庁より公表された「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択するとともに、組合員・利用者の皆さまの安定的な資産形成に貢献するため、以下の取組方針を制定いたしました。

今後、本方針に基づく取組みの状況を定期的に公表するとともに、よりお客さま本位の業務運営を実現するため本方針を必要に応じて見直してまいります。

1. お客さまへの最適な商品提供

- (1) お客さまに提供する金融商品は、特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えできるものを選定します。また、過去の運用成績が相対的に良好かつ長期投資に適した商品をご提供することで、お客さまの安定的な資産形成となるよう提案します。なお当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。【原則2本文および(注)、原則3(注)、原則6本文および(注2、3)】

2. お客さま本位のご提案と情報提供

- (1) 「ご意向確認書」をもとに、お客さまの金融知識・経験・財産、ニーズや目的を把握したうえで、お客さま一人ひとりにふさわしい商品をご提案いたします。【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】
- (2) 商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について、「重要情報シート」等を活用し、お客さまが理解できるよう分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供します。特に高齢のお客さまに対しては、役席者の同席や適合性判定等により理解度を十分に確認したうえで慎重に対応いたします。【原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

- (3) お客さまにご負担いただく手数料について、お客さまの投資判断に資するように、「JAバンクセレクトファンドマップ」等の各種資料を活用し、丁寧かつ分かりやすい説明に努めます。【原則4、原則5本文および(注1~5)、原則6本文および(注1、2、4、5)】

3. 利益相反の適切な管理

- (1) お客さまへの商品選定や情報提供にあたり、お客さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき適切に管理し、利益相反のおそれのある取引の特定および利用者の保護を適正に確保するための措置について、記録・保存を行い、定期的に検証を行います。【原則3本文および(注)】

4. お客さま本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- (1) 研修による指導や資格取得の推進、運用会社等を活用した勉強会の開催等を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことができる人材を育成し、お客さま本位の業務運営を実現するための態勢を構築します。【原則2本文および(注)、原則6(注5)、原則7本文および(注)】
- (※) 上記の原則および注番号は、金融庁が公表している「顧客本位の業務運営に関する原則」(2021年1月改訂)との対応を示しています。